

とんく拍子

帝キネ時代映畫

原作 鮎川 魚太郎

監督 佐藤 樹一郎

撮影 池田 千太郎

主要役割

國家老藤 藤源左衛門
 振 深雪
 小柳三之丞
 浪人剛田重兵衛
 助川五郎左衛門
 指南番 松村大藏
 城主
 宿女中 お鹿
 解説 佐藤樹一郎氏の「足輕吉右衛門」に次



寫真 「とんく拍子」帝キネ佐藤樹一郎作品
 實川延松と久野あかね

ぐ作品である。
 略筋——赤穂浪士の快挙の後、世をあげて仇討
 禮儀に走りつゝあつた元祿時代の事であつた。
 上田城下で三之丞は愛人深雪に魅せられ、父の
 死もその仇討の事すら考へてゐなかつたが、
 世間の喧しき聲に押されて仕方なく仇討の旅に
 出立しなければならなかつた。
 或る宿場で彼は病を稱して國許から金を取り
 よせ宿の女中さぶざけてゐたが、一日浪人者剛
 田の經濟難を救つてやつた。それが縁で仇助川
 を討取る事が出来た。尙其上助川が大盗賊であ
 つた事が判り、彼は意外の功名をたてた。
 そして錦を飾つて歸國した彼は主君の覚え目
 出度く、愛人をも婚約する事が出来た。しかし
 彼に反感を抱いてゐた指南番松村も深雪に想を
 寄せてゐたので二人の間には戀の争闘が開始さ
 れたが彼はさんく拍子に幸運見になつて行く
 のであつた。